

棚POWER® PTS 入出力マニュアル

棚POWER では、作成した棚割モデルを PTS ファイルとしての保存や取り込みができます。
一括で複数の棚割モデルを PTS ファイルとして出力、および入力（取り込み）することもできます。
対象のファイル数（棚割数）によって必要な方法を選択してください。

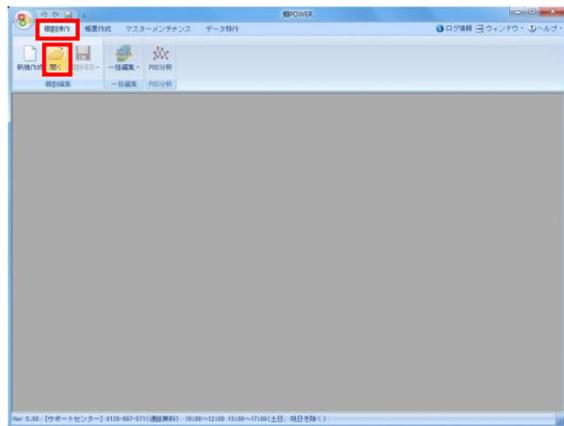
1. 棚割モデル毎に取り込む方法 ----- 1
2. 複数の棚割モデルを一括で取り込む方法 ----- 2
3. 棚割モデル毎に出力する方法 ----- 4
4. 複数の棚割モデルを一括で出力する方法 ----- 5

2018 年 11 月

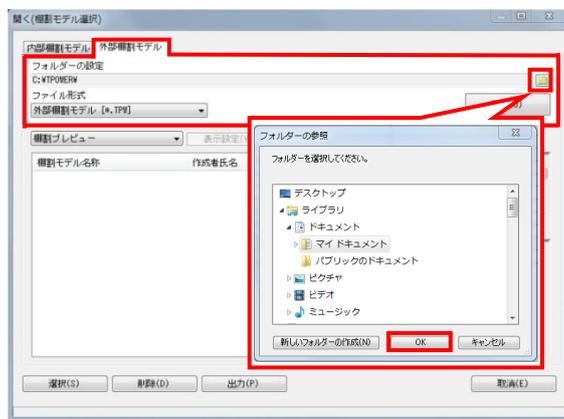
PTS[棚割配置情報] (*.csv) を取り込む方法を説明します。

棚割モデル (ファイル) 毎に取り込む方法と、複数の棚割モデルを一括で取り込む方法があります。

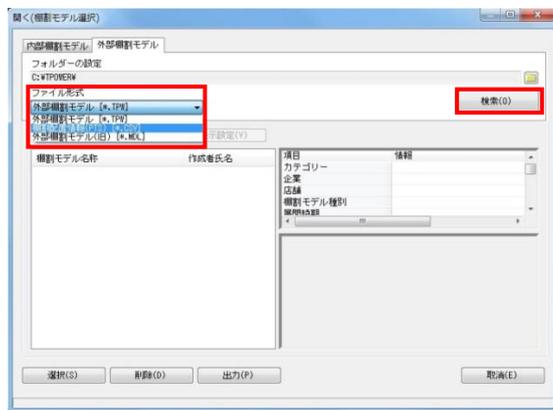
■ 棚割モデル毎に取り込む方法



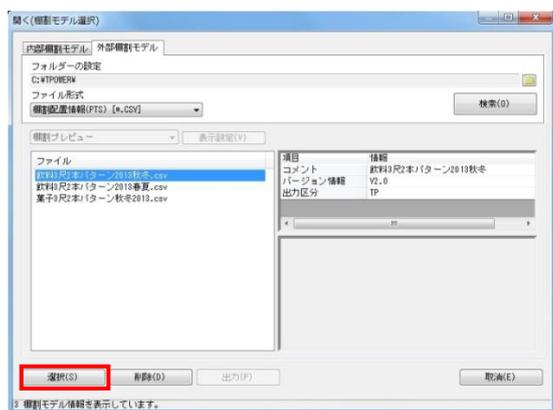
1. [棚割操作] タブ - [開く] をクリックします。



2. [外部棚割モデル] タブを選択し、右側にあるフォルダアイコンをクリックします。
[フォルダの参照] 画面よりPTSの保存先を指定し、[OK] をクリックします。

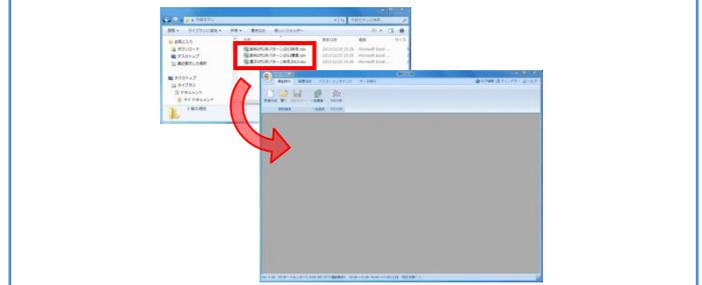


3. ファイル形式の一覧より「棚割配置情報 (PTS) (*.csv)」を選択し、[検索] をクリックします。

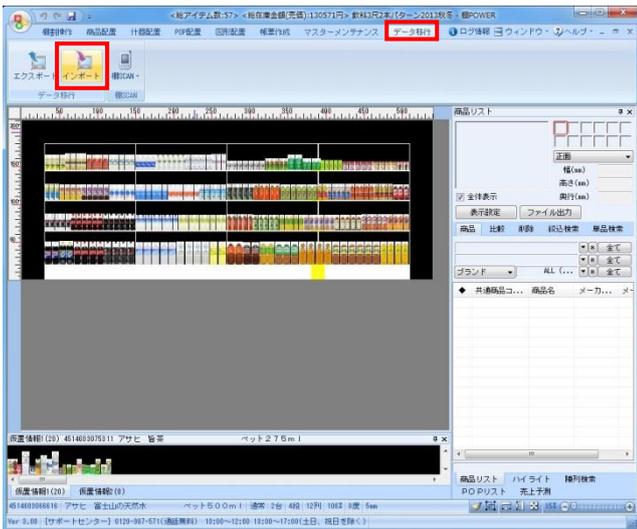


4. 検索結果の一覧より開きたい棚割モデルを選択して、[選択] をクリックすると棚割モデルが開きます。

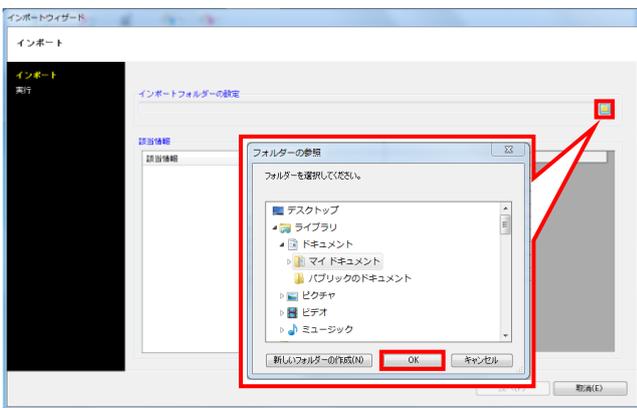
※保存した外部モデルを棚POWER画面内にドラッグ&ドロップすることで開くことも可能です。



■複数の棚割モデルを一括で取り込む方法



1. [データ移行]タブ - [インポート]をクリックします。



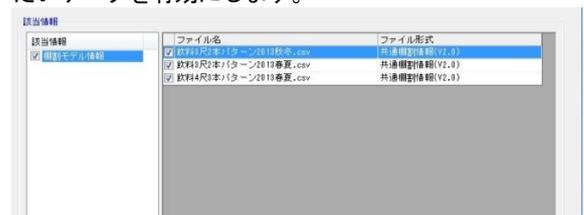
2. インポートウィザードが開いたらフォルダーアイコンをクリックします。
[フォルダーの参照]画面よりPTSの保存先を指定し、[OK]をクリックします。

※[フォルダーの参照]ではファイルは表示されないため、データが保存されているフォルダーを選択します。

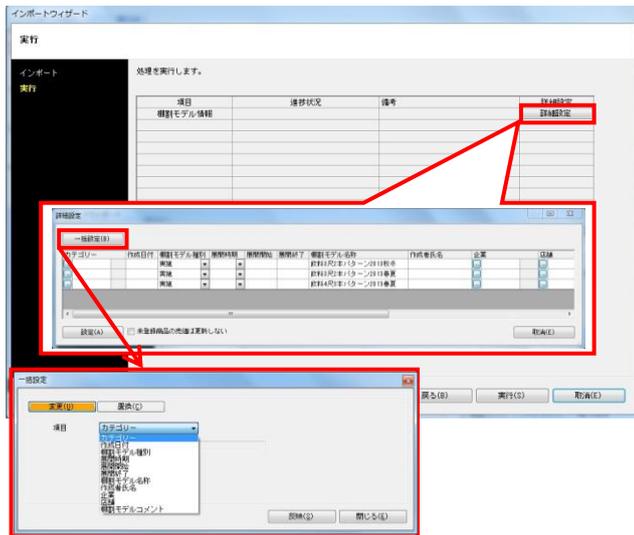


3. 該当情報一覧に取込みできるデータ一覧に「棚割モデル情報」が表示したことを確認して、[次へ]をクリックします。

※該当情報をクリックすると、右側にファイル名やファイル形式が表示されるので、複数ファイルが存在する場合は取り込みたいデータを有効にします。

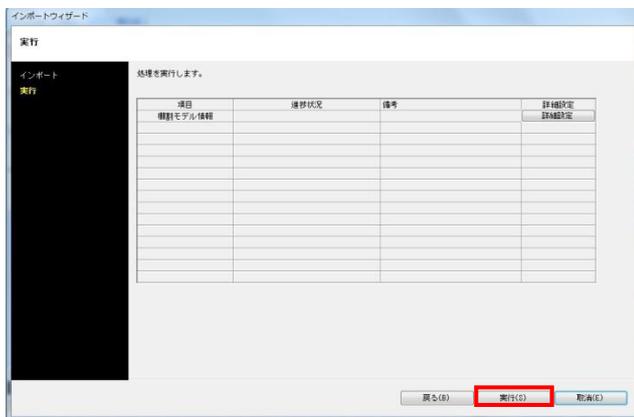


4. 棚割モデル情報-[詳細設定]をクリックします。



5. [詳細設定]から棚割モデル名称やカテゴリ、店舗などの基本情報の設定が可能です。

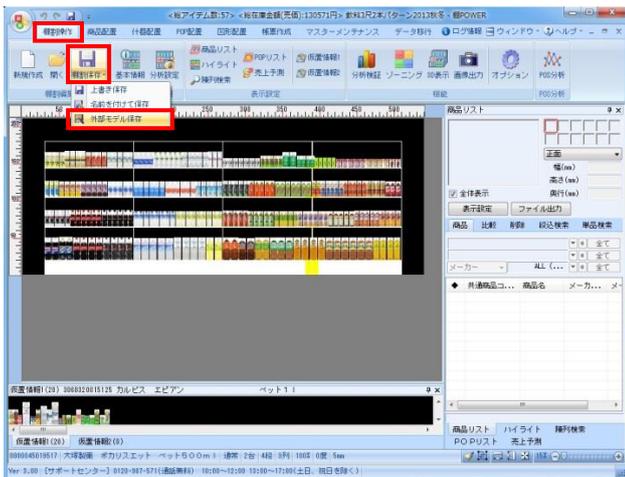
[一括設定]から全棚割モデルを対象に、基本情報の各項目を一括で設定できます。



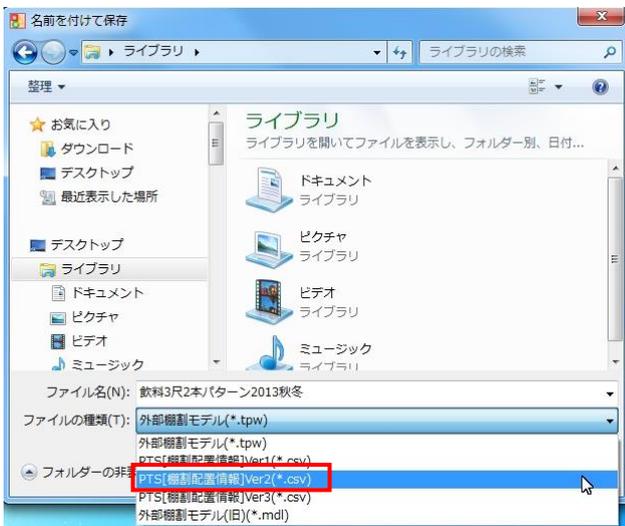
6. [実行]をクリックすると、インポートが開始します。処理が終了すると、「終了しました。本機能を終了しますか?」というメッセージが表示されます。[はい]をクリックして、PTSファイルのインポートは終了です。

PTS[棚割配置情報] (*.csv) を出力する方法を説明します。
 棚割モデル毎に出力する方法と、複数の棚割モデルを一括で出力する方法があります。

■ 棚割モデル毎に出力する方法



1. [棚割操作] タブ - [棚割保存] をクリックして、「外部モデル保存」を選択します。



2. [名前を付けて保存] 画面にて出力先を選択します。
 ファイル名を設定し、ファイルの種類から「PTS[棚割配置情報] (*.csv)」を選択します。
 (左図ではPTS Ver2.0を選択しています。)

※PTS (棚割配置情報) はバージョンによりフォーマットが異なるため、他社棚割ソフトの対応状況を確認してください。



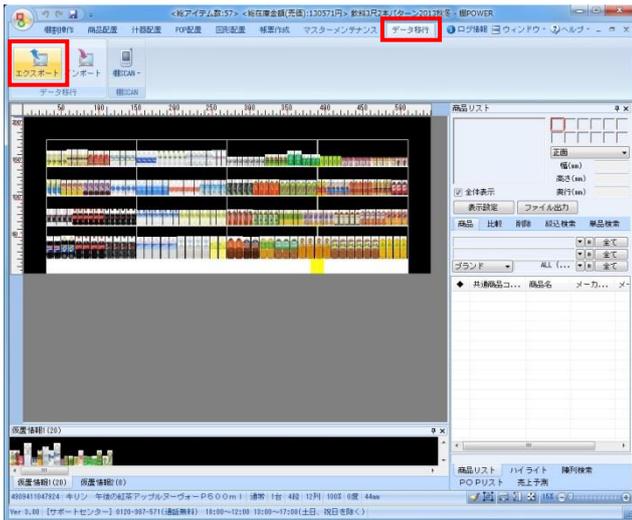
3. [保存] をクリックします。



4. [外部モデル保存] 画面が表示されます。
 「仮置き商品を保存する」の有効、無効どちらかを選択し、[設定] をクリックします。
 指定した出力先にPTSファイルが出力されます。

※「仮置き商品を保存する」を有効にすると、仮置情報内に陳列している商品も棚割モデル情報に保持できます。

■複数の棚割モデルを一括で出力する方法



1. [データ移行]タブ - [エクスポート]をクリックします。



2. [処理方法の選択]より「新規にエクスポートする」を選択して、[次へ]をクリックします。

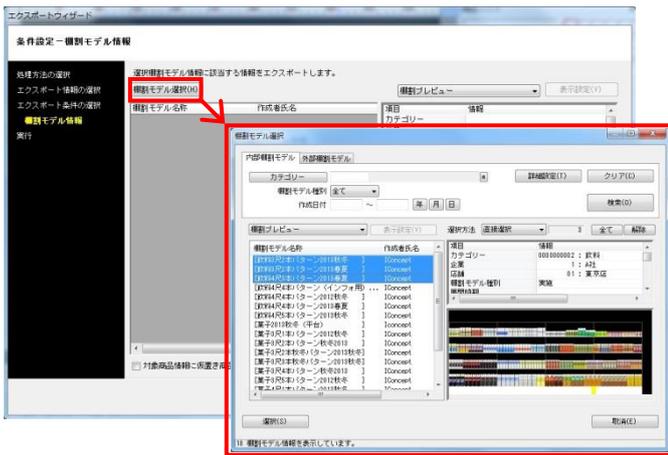


3. [エクスポート情報の選択]より「棚割モデル情報」のチェックボックスを有効にして、[次へ]をクリックします。

商品データも共に出力する場合は、「商品情報」のチェックボックスを有効にし「業界データ」-「プラネット」も選択します。

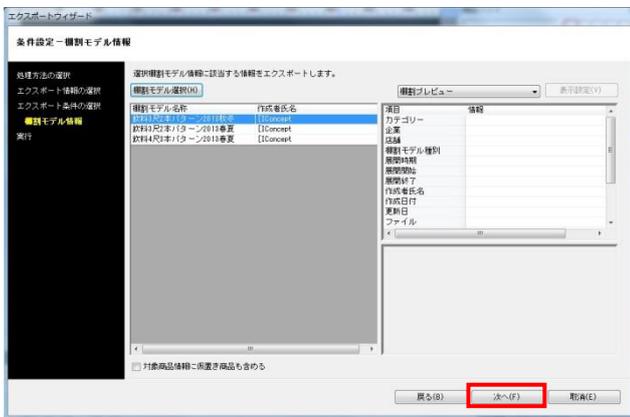


4. [エクスポート条件の選択]より、「棚割モデル情報で絞り込む」を選択し、[次へ]をクリックします。

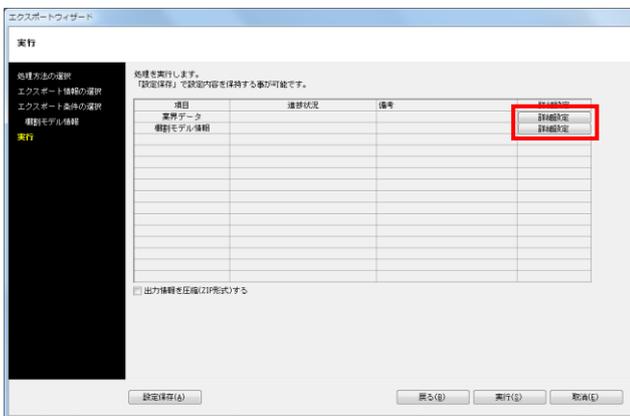


5. 出力する棚割モデル情報を選択します。
[棚割モデル選択]から出力したい棚割モデルを選び、[選択]をクリックします。

※複数の棚割モデルを選択する場合は、棚割モデル名称左横のチェックボックスを有効にします。
チェックボックスが表示されていない場合は、キーボードのCtrlキーを押下しながら、該当の棚割モデルをクリックして選択します。



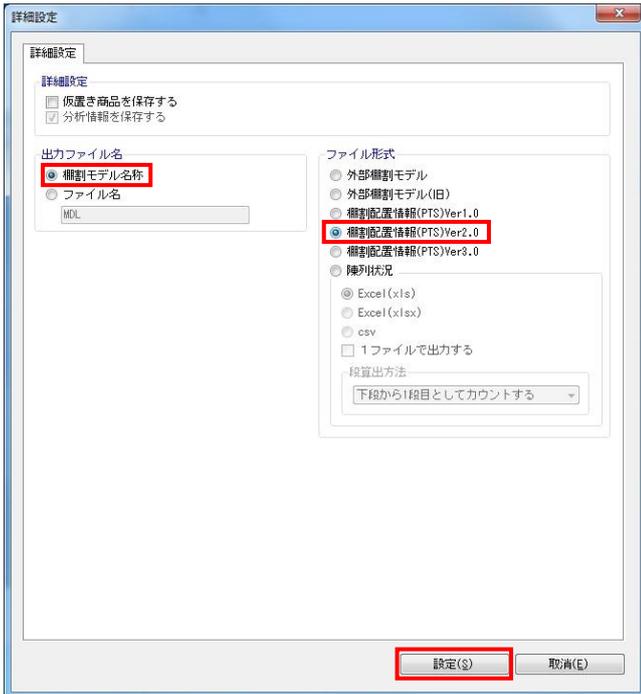
[次へ]をクリックします。



6. 棚割モデル情報 - [詳細設定]をクリックします。

商品データ (プラネット) も共に出力している場合は、「業界データ」 - [詳細設定] も確認します。

[詳細設定]－棚割モデル情報



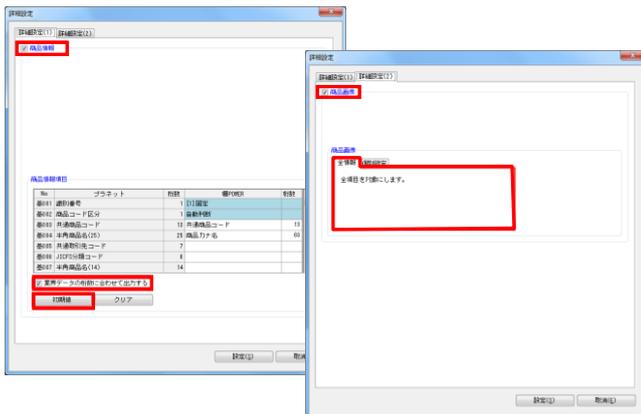
- 出力ファイル名は「棚割モデル名称」もしくは「ファイル名」、ファイル形式は「棚割配置情報 (PTS)」を選択します。(左図ではPTS Ver2.0を選択しています。)

[設定]をクリックします。

※棚割配置情報 (PTS) はバージョンによりフォーマットが異なるため、他社棚割ソフトの対応状況を確認してください。

※「仮置き商品を保存する」を有効にすると、仮置情報内に陳列している商品も棚割モデル情報に保持できます。

[詳細設定]－業界データ (プラネット)



- 業界データの詳細設定を下記の通り設定します。

[詳細設定 (1)] タブ

商品情報：有効
業界データの桁数に合わせて出力する：有効
初期値：有効(クリック)

[詳細設定 (2)] タブ

商品画像：有効
商品画像：全情報
(個別設定では出力する商品画像の面を選択)

- [実行]をクリックし、フォルダーの参照画面より出力先フォルダーを指定して、エクスポートを実行します。

「出力情報を圧縮 (ZIP形式) する」を有効にすると、あらかじめ圧縮 (ZIP形式) した状態で出力できます。メールに直接添付する場合や、インターネットを介してアップロードする場合に便利です。

※業界データは特殊な階層で出力されます。出力したフォルダーの階層を崩してしまうと取り込みに問題が発生するため、フォルダーの階層を崩さないようにしてください。

